



小型の刺股を使い、館内に侵入してきた不審者を捕らえる訓練をする参加者

## 不審者撃退法学

文化市民  
市ホ

### 職員20人刺股使い訓練

宮崎市の市民文化ホール（井手茂貴館長）で11日、不審者の乱入などを想定した防犯訓練があった。職員約20人が刺股（さすまた）を使った対応や護身術を学んだ。危機管理体制を見直そうと初めて実施。県警OBで、日

本防犯安全振興財団の専任講師の西本正弘さん（70）が講師を務めた。

西本さんは、車の鍵の金属部分を武器にするなど、身近な道具を使った護身術を指導した上で「知識はあってもいざその場面にいくわすと、緊張で何もできなくなる。普段から体に覚え込ませることが大事」と説いた。その後、警察官扮（ふん）する不審者が凶器を持って館内に侵入、小

型の刺股を使って撃退する実践訓練も行った。  
井手館長は「不特定多数が入りうるホール。普段から危機感を持って業務にあたりたい」と話していた。

（島田喜恵）